

TIB 等の場を活用したグローバル・アントレプレナー
シップ実践事業に係る令和8年度・令和9年度運営事
業者への協定金支払における評価方法及びKPIの説明

令和8年6月

スタートアップ戦略推進本部

戦略推進部 スタートアップ推進課

1 協定金支払額の評価方法

TIB 等の場を活用したグローバル・アントレプレナーシップ実践事業（以下「本事業」という。）は、応募時に協定金見積額（以下「基準額」という。）及び KP の設定及びその設定方針の提示が必要です。協定金の支払に当たっては、外部有識者を含む KPI 評価委員会により、達成度合い等の事業の成果を総合的に評価します。

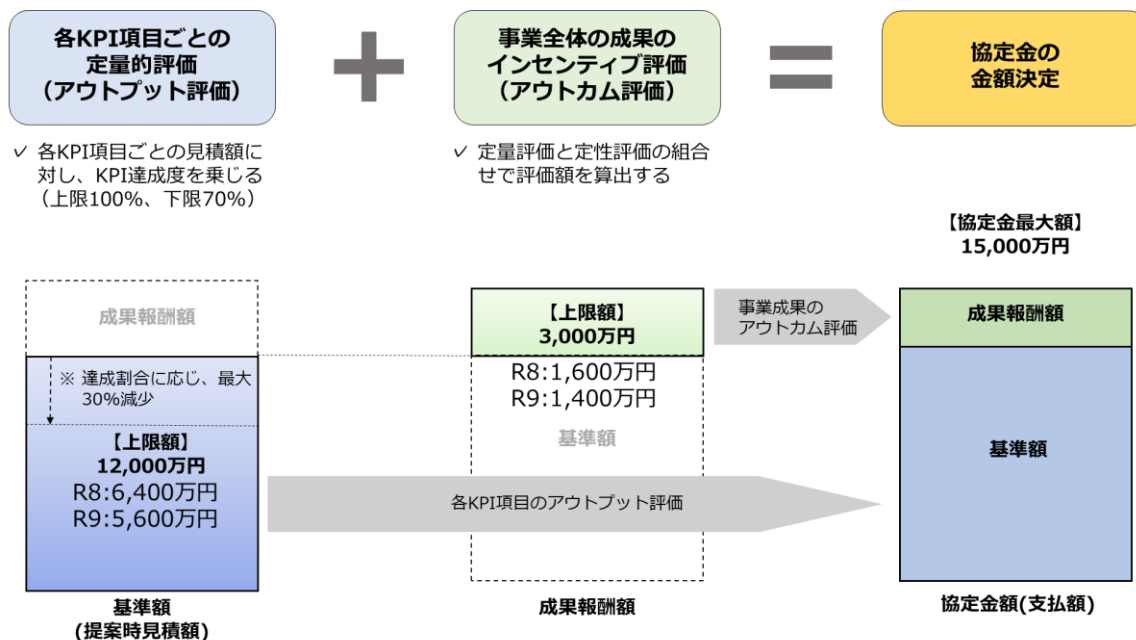
東京都は、KPI の達成状況及び事業全体の成果を定量面・定性面の 2 つの観点から評価し、評価結果に応じた協定金の支払を行います。

KPI の達成状況及び事業全体の成果の報告は年度終了後及び本事業終了後に行い、それに基づき、KPI 評価委員会による事業全体の評価が行われ、協定金の支払金額が確定します。

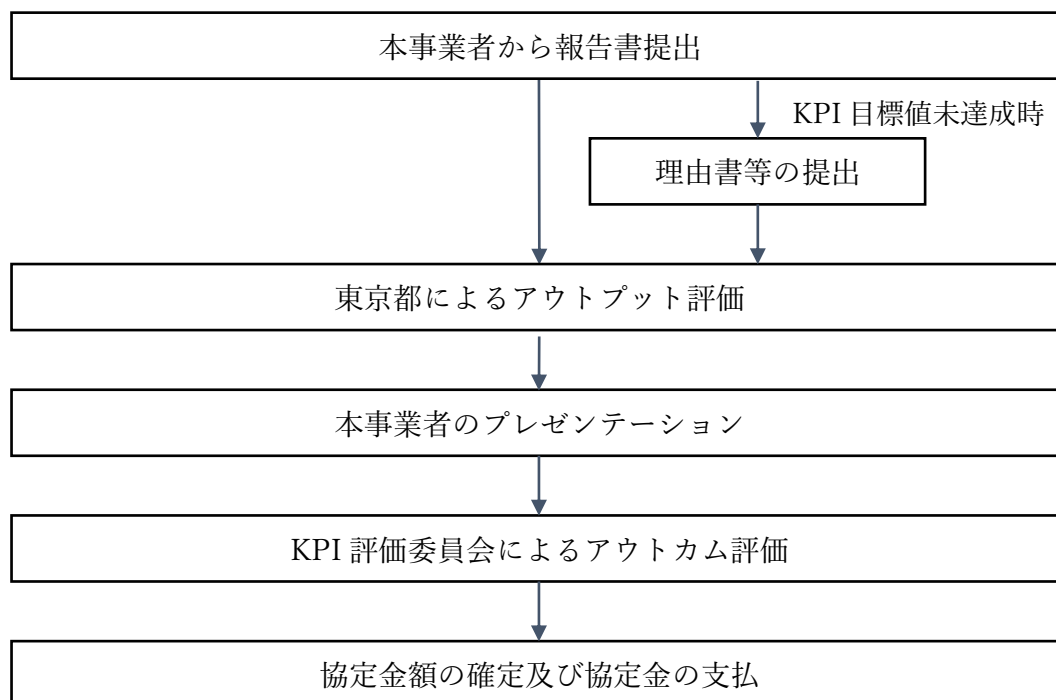
このような評価設計の中、本事業の目的達成や品質管理のために東京都で設定した KPI 指標（必須項目）の数値目標と本事業者が独自に設定した KPI 指標の数値目標（任意項目）を必達条件とし、東京都が一律に定量的評価（アウトプット評価）を行います。これらの数値目標を満たさない場合は、基準額から達成率に応じ、減額された基準額の支払になる場合があります。

次に、KPI 評価委員会が定量・定性の両面からインセンティブ評価（アウトカム評価）を行い、本事業趣旨の実現を促進・加速させるような効果を創出したと判断された場合は、上記の基準額に加え、インセンティブ（成果報酬）が追加され、令和 8 年度分最大 8,000 万円、令和 9 年度分最大 7,000 万円が支払われます。上記に基づく評価結果と協定金支払額の紐づけ及び評価実施手順のイメージは以下のとおりです。

【協定金決定までの流れ】（年度ごとに算出）



【達成状況の確認方法】（年度ごとに実施）



2 KPI 評価について

(1) アウトプット評価

KPI 指標については、本事業の目的達成や品質管理を最低限保証する目的で東京都が定めた必須項目と本事業者が設定する任意項目に分けられます。応募時には、様式1「KPI 設定説明書」により提案してください。

定量評価では、公平性の観点から本事業者の達成度合いを統一した基準で計るため、KPI 項目ごとに数値目標及びそれらが達成されたと判断するための『達成』要件を設定しています。

本事業者は、事業報告時に事業報告書とともに各 KPI 達成状況を客観的に確認できる根拠資料（各種契約書、議事録等）を提出する必要があります（各必須項目・任意項目の数値目標及び『達成』要件の詳細は、以下のア必須項目及びイ任意項目を御参照ください。）。

これらの KPI 指標が達成されない場合は、協定金の支払金額が基準額から減額となる可能性があります。

また、未達成の場合は、理由書を御提出いただきます。提出いただいた理由書等を基に、目標値に未達成となった背景・要因等を KPI 評価委員会で検討し、最終的な評価額を決定します。

ア 必須項目

評価時において、必達条件となる KPI 項目等については以下のとおりです。

[令和 8 年度分]

KPI 項目		数値目標	『達成』要件
必須	(ア)意欲ある企画メンバーの募集・育成計画の策定・伴走支援	10 名以上	企画メンバー募集・育成計画書・育成報告書 段階的に令和 9 年 4 月 1 日に向けて 15 名以上に企画メンバーを増員する場合は、募集時期等のズレを反映した金額設定とすること。
	(イ) 企画メンバーと連携した TIB 等でのイベント実施	1 回以上	各イベントの開催報告書及び企画メンバーがイベント内容に関与した報告書
	(ウ)企画メンバー複数名を海外スタートアップイベントに派遣	1 式	実施報告書 ※燃料費・企画メンバーの素養等を鑑みた適切な場所・人数を提案すること。
	(エ)学生団体や学生起業家等の巻き込み	計 70 団体以上	報告書 イのイベントに参加させるなど、意義のある巻き込みであることを示すこと。
	(オ)STT2027 当日運営ボランティアの募集	3 日間延べ 500 名以上	当日運営ボランティア募集計画・啓発計画・募集報告書 スシ当日までに興味関心を持たせ、早期の応募者には、メリットを感じられるようにするなど、計画的に募集する計画を示し、それを実現したことを示すこと。

[令和 9 年度分]

KPI 項目		数値目標	『達成』要件
必須	(ア)意欲ある企画メンバーの募集・育成計画の策定・伴走支援	15 名以上	企画メンバー育成計画書・育成報告書・成果報告書
	(イ)企画メンバーと連携した TIB 等でのイベント実施	1 回以上	各イベントの開催報告書及び企画メンバーがイベント内容に関与した報告書
	(ウ)学生団体や学生起業家等の巻き込み	計 30 団体以上	報告書 ※令和 8 年度に計上された団体とは異なること。アの育成計画に参加させる、イ

			のイベントに参加させる、スシ学生企画に関与させるなど、意義のある巻き込みであることを示すこと。
(エ)STT2027 当日のセッション等の実施時間	12 時間以上		報告書
(オ)STT2027 当日運営ボランティアの参加	3 日間延べ 500 名以上		成果報告書 各参加者がボランティアとしてどのような役割を担ったかを含めて説明すること。
(カ)STT2027 当日の設え	150 m ²		報告書

イ 任意項目

本事業者は、効率的・効果的な事業遂行のため独自の KPI 指標を設定・提示する必要があります。KPI 指標は下記の例を参照して設定・提案をしてください。

なお、評価項目や数値は必ずしも記載例にならう必要はありませんが、本事業目的に合致する KPI 指標を提案してください。

また、本事業をより効果的に実施する KPI 設計であると思料された場合は、インセンティブ評価における考慮事項となる可能性もあります。

例) アルムナイイベント実施数など

(2) アウトカム評価

インセンティブ評価時には、アウトプット評価以外に、KPI 評価委員会が持続性及び普及の観点から定性的な評価と、TIB 等でのイベントに参加した学生等の人数や定量的な成果から事業全体の評価とを行います。委員により、本事業趣旨を実現する効果を創出したと評価される場合、基準額に成果報酬額を加えた金額が協定金の支払額となります。

【定性的な評価の観点】	
① 持続性：挑戦者マインドとグローバル意欲の向上に富んだ活動の「見える化」	
令和 8 年度：企画メンバーの活動自体の発信とその支援に関するエコシステムプレイヤーの取組など学生のグローバル・アントレプレナーシップに関わる取組を発信したか など	
令和 9 年度：STT2027 当日や TIB でのイベントなどに参加した学生等の挑戦者マインドやグローバル意欲の向上につながり、その発信を適切にできたかなど	
② 普及：学生等の挑戦的な活動に本事業が寄与したか 等	
令和 8 年度：企画メンバーの育成に適切な機会を提供するとともに、学生にとって魅力的なエコシステムプレイヤーを育成に巻き込むなど効果的な取組を実施できているか	
TIB や STT2027 を活用したその他の様々なグローバル・アントレプレ	

<p>ナーシップ醸成に資する事業と連携するなど、学生にとって効果的な取組をおこなっているか など</p> <p>令和9年度：企画メンバーがスタートアップやグローバルの魅力を感じ、その後の活躍を期待できるような取組を実施したか</p> <p>当日運営ボランティアがスタートアップやグローバルの魅力を感じ、その後の活躍を期待できるような取組を実施したか など</p>
<p>【定量的な評価の観点】</p> <p>年度ごとに以下が一例。協定締結後東京都からの通知を受けること。</p> <p>令和8年度：当日運営ボランティアの延べ申込人数（必須 KPI に加えて 300 名増）</p> <p>令和9年度：当日運営ボランティアの STT2027 での延べ参加人数（必須 KPI に加えて 300 名増）</p>

<成果報酬額算出方法>

定量的な評価の観点を「基礎点」、定性的な評価の観点を「加減点」として算出し、それぞれの合算により S から D までの5段階評価を行い、アウトカム評価に基づく成果報酬額を決定します。